

ミニトマトが教材、各小学校で授業

J Aしずない青年部食育出前授業を行う

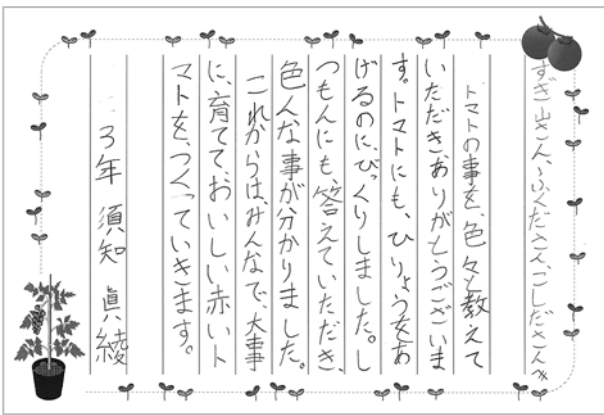
J Aしずない青年部（部長 若生慎吾）は5月から7月にかけて町内の各小学校にてしずない産ミニトマト「太陽の瞳」と同じ品種を使用した栽培授業を行いました。

この活動は食育の一貫として平成25年から実施、今年で5年目を迎えました。部員達は1回目に畑づくりから苗の定植の作業までを、2回目にわき芽取りと追肥と日々の管理について指導を行い、子どもたちは熱心に部員達の説明を聞き入れながら楽しそうに作業をこなしていました。

同青年部長の若生氏は「毎年感じるのですが、子どもたちの飲み込みの速さには驚いています。質問も専門的なことばかりでしっかり学んでいるなと感じますし、自分らも刺激になります。この授業をきっかけに農業に興味をもってくれたら嬉しいですね。」と話していました。



高静小学校での食育出前授業の風景です。



たくさんの子供たちからお礼が届きました！

しずない産ミニトマト「太陽の瞳」をPR

「日高・胆振フェア」にて出店

7月15日から16日の2日間、ホクレン主催による日高・胆振地区の農産物を販売するイベント「日高・胆振フェア」が新札幌サンピアザ「光の広場」にて行われました。

PR販売には、そ菜振興会ミニトマト部会の中道雅則部長のほか、新規就農を目指し農家研修中の廣田身奈さん、新ひだか町出身でミニトマト「太陽の瞳」の応援ソングを歌う阿部卓馬さん、J Aしずない生産課職員2名が参加。

会場は週末だったこともあり大勢のお客さんと賑わい、また阿部卓馬さん



PR販売の様子

によるミニライブも行われ、3月にCD化された応援ソング「太陽の瞳」を熱唱し盛り上がりを見せました。



ミニライブも大いに盛り上がりました。